



新しい教育映画

16ミリ版提供

おやつ

2巻

804呎 23分

—— 子供はたべることがたのしみだ
そのたのしみを子供はどうやって
みたしているか ——

製作 桜映画社

配給 教育映画配給社



製作 演出 脚本 撮影

村山英治

西沢岡

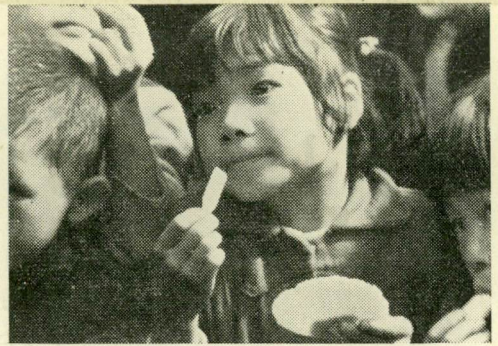
鮎沢美子

片山邦一



価格

三〇、〇〇〇円



町の公園でも、道でも、注意してみると、なにか食べている子のなんと多いことでしょう。幼い人たちは朝から晩まで食べることで頭がいっぱいです。食べるということに、いじらしいほど関心をもっているのです。どらやきやドーナツが作られている都心のきれいな店の前でも、拍子木の音といっしょにまわってくる紙芝居屋のまわりでも、食べものにせいっぱい関心を示す子供たちが見られます。紙芝居の前で、水あめの棒をこねまわす子供、種せんべいにつけられた甘味をなめる子供、紙芝居の拍子木をたたいて一まわりする子供には御ほうびのお菓子が与えられるので、たたき役はうばいあいです。

忙しいお母さんが「母ちゃん、なにか——」といわれると、十円玉で子供を追い払う。子供の行くさきは駄菓子屋です。なめクツ、クツだんご、泥だらけの手でつかむあめ玉——。ここは、おとなに知られない子供だけの天国なのです。それぞれ、何かを口にしながら子供は楽しそうにしています。

多くの家庭の中には、おやつ時間をきめて、おやつを与えている所もあります。しかし、その内容というと、子供が喜ぶからというだけで栄養も何もない子供だましのお菓子のことがいのです。

おやつは、ただ、食べることに生活のなかばをかける子供たちの、舌の先だけを満足させればいいものではなく、食事の一部分となる栄養をもっていないといけないのです。

一方、お菓子の作られているところを見てもみましょうか。お菓子の全部が清潔に作られているわけではなく、保健所の食品衛生監視員の監視の目をもぐる駄菓子もあり、運送の途中で虫がついたりするものもあります。

また、監視の目をぬすむもぐり駄菓子からさえおきわすられた子もあります。

子供たちは、おやつを生徒会の議題にとりあげる程、おやつには関心を示し、子供の手で解決のつかないおやつに関するさまざまな問題を、お母さんたちが解決へみちびくことを期待していました。

心も、からだもみちたりのおやつ、子供はそれを待っています。

株式会社 教育映画配給社



本社 東京都中央区銀座西六ノ三朝日ビル
関東支社 電話銀座61793・4559・0597番

関西支社 大阪市北区中之島朝日ビル
電話北浜237912番
北海道支社 札幌市北二条西三丁目
大北モータービル三階
電話(3)2502

九州支社 福岡市上呉服町二三 日新会館
電話東(3)2316番
中部支社 名古屋市中村区堀内町四ノ一
毎日名古屋会館
電話(5)5778番